

貯法：密閉容器・室温保存
使用期限：容器等に表示
注意：「取扱い上の注意」の項参照

日本薬局方
ゼンブリ・重曹散
ゼンブリ・重曹散「ケンエー」

承認番号	(61AM)1542
薬価収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1990年3月

日局 ゼンブリ・重曹散

※※【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- (1) ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等）
[ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。]
- (2) ヘキサミンを投与中の患者（「2.相互作用」の項参照）

【組成・性状】

〈組成〉100g中

ゼンブリ末 3g

炭酸水素ナトリウム 70g

添加物としてトウモロコシデンプン、乳糖水和物を含有する。

〈性状〉

淡灰黄色で、味は苦い。

分包品

	外形	識別コード
1g×3連包		KE SWS

【効能・効果】

下記消化器症状の改善

食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

【用法・用量】

通常、成人1回 0.5～1.0g、1日3回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

※※【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 重篤な消化管潰瘍のある患者 [炭酸水素ナトリウムを配合しているため、症状が悪化するおそれがある。]
- (2) 腎障害のある患者 [ナトリウム貯留による浮腫があらわれるおそれがある。]
- (3) 心不全の患者、高血圧症の患者 [ナトリウム過剰により、これらの症状が悪化するおそれがある。]
- (4) 肺機能障害のある患者 [呼吸性アルカローシスになるおそれがある。]
- (5) 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者 [症状が悪化するおそれがある。]

2. 相互作用

※※(1)併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ヘキサミン (ヘキサミン 静注液)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

(2)併用注意（併用に注意すること）

本剤は制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。

【取扱い上の注意】

〈その他〉

本剤は原料に生葉が含まれているので、その産地、採取時期等により、製品の色調が一定しないことがある。

〈安定性試験〉¹⁾

最終包装製品を用いた長期保存試験（室温、4年間）の結果、通常の市場流通下において4年間安定であることが確認された。

※※【包装】

500g、1g×1,050

【主要文献】

1) 健栄製薬株式会社 社内資料：ゼンブリ・重曹散の経時安定性について

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

健栄製薬株式会社 学術情報部

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号

電話番号 (06) 6231-5626

FAX番号 (06) 6204-0750